



鈴鹿ものづくり元気の発信源

広報 ものづくり

新年明けまして おめでとうございます

鈴鹿市の産業を支えている製造業の皆様におかれましては、昨今の経済情勢に立ち向かうための決意と共に新年をお迎えになられたことと存じます。

当支援室では、人材育成ベーシック編を新設するなど、支援の充実を図るとともに、経験豊かなアドバイザーが皆様のお取組みを、全力を挙げて無料でお手伝いさせていただきますので、積極的にご活用ください。

本年が皆様にとって良いお年になりますよう、共に歩みましょう。



鈴鹿市ものづくり動く支援室
統括アドバイザー 大原 勝

ものづくり動く支援室の支援メニュー

- 現場の困りごと解決・・・企業OBアドバイザー派遣
- お忙しい会社に伺う・・・・・・・・・・巡回相談
- 企業体質を根本から見直す・・・経営戦略策定支援
- 企業は人なり・・・・・・・・・・人材育成支援
- 困った時の駆け込み相談・・・・・・・・よろず相談

お気軽にご相談ください

◇ 活動事例紹介

テーマ：人材育成・・・達成感を味わいながら現場力アップ
背景：景気低迷により、土曜日の出勤がなくなったことから
念願の研修が可能となった
目的：現場で発生する問題やトラブルに対する解決力の向上
目標：それぞれ職場単位の小集団活動体制の構築
内容：1 働くことの大切さ

・モラル・マナー・モラール・ルール

2 健康と安全

・人を大切にする・地域に迷惑をかけない

3 段取りの大切さ

・製品の流れ・機械の能力

4 品質の造り込み

・お客様の気持ち・品質づくりは工程・仕事の見える化

5 現場を変えてみよう・職場は私が守る

**成果：社員同士の風通しが良くなり、職場の問題について活発に意見を出し
合えるようになった。体制も整い社内で活発な小集団活動展開中。**

社長のコメント

仕事量の減少をチャンスと捉え社員の研修をお願いしました。

社員の仕事に対する意識・姿勢が向上し、社内が明るく、風通しが良くなりました。

年度 平成21年

企業 株式会社 岩間化学

支援 櫻本 アドバイザー

矢野 アドバイザー



岩間社長

◇ 用語解説 小集団活動

- ・ 全社的品質管理(TQM)を展開する時、現場の人たちが参加する活動ですが、今日では社内
の問題・トラブル解決にも利用されています。
- ・ 社内の同一職種の人たちが、いくつかの小グループを編成して、グループの中からリーダーを選
び、目標を立てそれを達成するために活動します。(一部の人だけがやる活動では効果なし)
- ・ 小集団活動の効果
 - (1)モラールが向上し、やる気につながる
 - (2)コミュニケーションが良くなる
 - (3)チームワークが良くなる
 - (4)リーダーシップを取れる人が育つ
 - (5)職場の体質強化に役立つ
 - (6)コストダウン・生産性の向上

ポイント ☆知恵・工夫・アイデアの発信基地

☆継続が大切

◇ おしらせ

みんなで活かそう！ 地域ブランド

すべての事業者に贈る 知的財産セミナー

とき 平成22年2月21日(日) 13時～16時50分

ところ 鈴鹿市文化会館 (けやきホール、さつきプラザなど)

内容 ・講演(基調/特別)

・鈴鹿“F(Fast・Fun・Find)1”フード試食会

・親子で作ろう！「理科って面白い！LEDランタン作り」

お申込みは産業政策課 TEL 382-9045 FAX 382-0304

【発行】

鈴鹿市 産業振興部

産業政策課 ものづくり動く支援室

〒513-8701

鈴鹿市神戸一丁目18番18号(別館第三)

TEL 059-382-7011 FAX 059-384-0868

E-mail: sangyoseisaku@city.suzuka.lg.jp